

明 治 史 料 館

当館は、昭和59年10月1日に開館した博物館である。館名は、常設展示テーマの「江原素六」と「沼津兵学校」が、当市の明治維新や明治時代を象徴するものであるところに由来する。

また、当館敷地が江原素六の邸宅跡であることから、「江原素六記念館」という名も掲げている。



1. 施 設 の 概 要

名 称	沼津市明治史料館
所 在 地	沼津市西熊堂372-1 電話 923-3335 FAX 925-3018
竣 工	昭和59年3月17日
総事業費	699,000千円
構 造	鉄筋コンクリート4階建（一部5階建）
規 模	敷地面積 1,793㎡ 建築面積 657㎡ 延床面積 1,946㎡
開 館	昭和59年10月1日

施設内容

図 書 室（1階）	郷土資料、県内市町村史、全国博物館刊行物、調べ学習用図書等を配架し、利用者の学習を支援するレファレンスルーム 開架式 87㎡
収 蔵 庫（1階）	資料を保存するスペース 61㎡
くん 蒸 室（1階）	資料の殺菌・殺虫を行う 21㎡
第2収蔵庫（2階）	資料を保存するスペース 136㎡
講 座 室（2階）	館主催の講演会・講座などに使用するほか、外部の社会教育団体などに対して貸し出している 170㎡
展 示 室（3階）	常設展示室 南側は沼津の通史、北側は江原素六のコーナー 527㎡
展 示 室（4階）	沼津兵学校のコーナー 121㎡
そ の 他	事務室（1階）43㎡、作業室1（1階）22㎡、作業室2（1階）20㎡、ロビー（1階）109㎡、会議室（2階）24㎡
休 館 日	毎週月曜日（祝日は開館）、毎月最終の平日、国民の祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始（12/29～1/3）
開 館 時 間	午前9時～午後4時30分
観 覧 料	大人200円 小人（小・中学生）100円 市内の小・中学生は無料団体（20人以上）は2割引

2. 事業活動

(1) 常設展示

3階展示室南側では、沼津の戦国期から近現代に至る通史の展示を行っている。3階展示室北側では、明治の政治家・教育者・キリスト者として活躍した沼津移住の旧幕臣江原素六（1842～1922）について展示している。主な展示資料は、江原素六の肖像画・写真・日記・辞令・遺品・墨蹟などがある。当館建設時に解体された江原邸の一部も復元・移築されている。

4階展示室では、明治元年（1868）に静岡藩の陸軍士官学校として設立された沼津兵学校と、その教授・生徒の人材について展示している。主な展示資料は、兵学校の規則書・教科書などや、西周・赤松則良・杉亨二・田口卯吉・島田三郎ら関係者の肖像である。

(2) 令和5年度事業実績

事業名	期 日	内 容	備 考
企 画 展	4月15日～ 5月14日	江原素六学習作品展 ～子どもたちの見た江原素六～	観覧者351人
	7月1日～ 9月24日	市制100周年記念特別展 「写真にみる沼津のあゆみ」	ポスター、チラシ、観覧者1,405人、ミュージアムグッズ（ポストカード・クリアファイル）
	12月9日～ 2月25日	「地域の歴史シリーズ4 おおひら」	ポスター、チラシ、ギャラリートーク 観覧者651人
館 外 展 示	9月1日～ 9月28日	第20回明治史料館館蔵資料展 「沼津まちなか古写真展」	会場 ぬましんストリートギャラリー
体 験 学 習	5月14日	「そろくの日」 房楊枝づくり体験、スタンプラリー、紙芝居「江原素六物語」	参加者 135人
	7月22日～ 8月24日	子ども向け歴史学習企画 「謎解き！沼津歴史探偵 ～100年前の沼津へタイムスリップ～」	参加者 117人
	8月3日	「高校生のための一日学芸員体験講座」	受講者 10人
	8月10日・ 11日	「平和を考える戦争史跡めぐり」	参加者 延べ23人
刊 行 物	年間	沼津市明治史料館通信（年4回発行） 沼津市博物館紀要（歴史民俗資料館共同発行）	153－156号（無料）各2,000部 48号（有償） 650部

企画展に関連した歴史講座や古文書解読入門講座等を実施している。

期 日	内 容	備 考
8月22日～9月2日	博物館実習生受入れ 学芸員資格取得に関わる博物館実習生の受入れ	実習生 2人
9月2日・9日・16日・ 23日・10月14日	古文書解読入門講座 古文書に初めて触れる初心者を対象に開催する	受講者 延べ26人
9月9日	歴史講演会 講師 松沢裕作（慶応義塾大学 経済学部教授） 演題「村と町と市と 町村合併にみる近代沼津のあゆみ」	参加者 63人
毎月第3土曜日 （4月・9月除く）	古文書等整理実践講座 近世・近現代の館蔵資料を中心に、整理・保存の方法を学ぶ	受講者 延べ44人
毎月第2土曜日	明治史料館ギャラリートーク2023 職員が展示資料を参加者と対話しながら解説する	参加者 延べ89人

期 日	内 容	備 考
通年	学校・団体見学受け入れ	参加者 延べ1,028人
10月4日・11月2日	講師派遣	
毎月第2土曜日	戦争体験を記録する会 戦争の記憶を後世に残すために、市民の戦争体験を記録する	参加者 延べ19人

(3) 史料の収集・保存・整理

展示や教育普及といった事業の基礎となる館の重要な任務として、史料の調査・研究・収集・整理・保存という仕事がある。当館では、その対象範囲を、江原素六・沼津兵学校に限定することなく、広く沼津市の歴史資料一般としている（特に、民俗学分野の資料を主な対象とする歴史民俗資料館に対し、当館は近世・近現代の文書資料や古書籍など歴史学分野の資料を主な対象とする）。収蔵・保管する史料は、分類・整理の上、一般の閲覧に供する（令和6年4月現在、博物館資料 約13万点、図書資料 約3万冊）。

3. 令和6年度事業活動

(1) 令和6年度事業計画

事業名	期 日	内 容	備 考
企 画 展	6月29日～ 9月1日	富士・沼津・三島三市博物館連絡協議会巡回展 「石器とくらしー愛鷹・箱根西麓の旧石器文化とその周辺ー」	ポスター、チラシ、パンフレット
	12月7日～ 2月24日	「地域の歴史シリーズ5 おおおか 大岡」	ポスター、チラシ
館 外 展 示	9月5日～ 9月26日	第21回明治史料館館蔵資料展	会場 ぬましんストリートギャラリー
体 験 学 習	7月24日～ 8月28日	子ども向け歴史学習企画 「謎解き！沼津歴史探偵」	
	7月28日	「平和を考える戦争史跡めぐり」	市内在住・在学の小学校4・5・6年生とその保護者対象
	8月1日	「学芸員体験講座」	市内在住・在学の中高校生対象
刊 行 物	年間	沼津市明治史料館通信（年4回発行） 沼津市博物館紀要（歴史民俗資料館共同発行）	157－160号（無料）各2,000部 49号（有償）

企画展に関連した歴史講座や古文書解読入門講座等を予定している。

期 日	内 容	備 考
8月20日～9月4日	博物館実習生受入れ 学芸員資格取得に関わる博物館実習生の受入れ	定員5人
10月・11月	古文書解読入門講座 古文書に初めて触れる初心者を対象に開催する	講師 大庭 晃氏 定員10人
毎月第2土曜日	明治史料館ギャラリートーク2024 職員が展示資料を参加者と対話しながら解説する	

(2) 史料の収集・保存・整理

沼津兵学校関係資料及び沼津の歴史資料一般について収集・保存・整理を進める。

4. 明治史料館協議会

館の円滑な運営を図るために設置し、学校教育の関係者、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者、公募による市民から10名をもって組織され、任期は2年となっている。

5. 利 用 状 況（令和5年度）

月	入 館 者 数	開館日数	月	入 館 者 数	開館日数
4	217 人	25 日	10	1,360 人	17 日
5	468	25	11	234	11
6	178	13	12	246	16
7	632	25	1	357	23
8	938	27	2	450	22
9	411	21	3	345	24

令和5年度 入館者数 5,836人 開館日数 249日 一日平均入館者数 23.4人

戸田造船郷土資料博物館

1. 施設の概要

名 称	沼津市戸田造船郷土資料博物館
所 在 地	沼津市戸田2710-1
電話/FAX	0558-94-2384
建 築 面 積	247.9㎡
延 床 面 積	518㎡
構 造	鉄筋コンクリート造3階建
開 館	昭和44年7月1日
施 設 内 容	1階 機械室 ピロティ 2階 玄関ホール・研修室・事務室・展示室 (駿河湾深海生物館を併設/延べ床面積213.98㎡) 3階 ロビー・展示室
休 館 日	毎週水曜日・国民の祝日の翌日(土日は除く)・年末年始
開 館 時 間	午前9時～午後4時30分
観 覧 料	大人200円 小人(小・中学生)100円 市内の小・中学生は無料 団体(20人以上)は2割引



2. 博物館設立の経緯と目的

1854年、安政の東海大地震による津波で破損したロシア軍艦「ディアナ号」は、修理のため下田から戸田港に向かう途中、嵐に遭い現在の沼津市原付近の沖合で沈没してしまう。帰国する船を失ったプチャーチン提督をはじめとするロシア人乗組員たちは、沼津水野藩・葦山代官などの援助のもとに戸田の船大工と協力して日本初の本格的洋式帆船「ヘダ号」を建造した。

昭和42年にヘダ号の建造地とプチャーチンの遺品が静岡県史跡の指定を受けたことを機に、旧戸田村の各所に残された造船に関わる遺品を収蔵・展示するための施設として建設し、昭和44年7月1日に「戸田村立造船郷土資料博物館」として開館した。昭和62年4月には「駿河湾深海生物館」が併設開館している。

さらに平成17年4月1日、沼津市と旧戸田村の合併に伴い沼津市に移管され、「沼津市戸田造船郷土資料博物館」と改称した。

3. 事業活動

(1) 令和5年度事業実績

① ヘダ号の建造資料及びディアナ号・プチャーチン関連の遺品等の常設展示

② 企画展

ア 大名びな展	4月1日～6月4日
イ 戸田の学校教育展	6月5日～10月31日
ウ 戸田の神社とまつり展	11月2日～令和6年1月30日
エ 戸田から見た富士山の四季写真展	令和6年2月1日～2月29日

(2) 令和6年度事業計画

① ヘダ号の建造資料及びディアナ号・プチャーチン関連の遺品等の常設展示

② 企画展

ア 大名びな展

4月1日～5月31日

イ プチャーチン来航170周年展

6月1日～令和7年1月31日

ウ 戸田から見た富士山写真展

令和7年2月1日～2月28日

(3) 展示収蔵品

ヘダ号造船に関する資料（設計図・大工道具・ヘダ号模型ほか）

ディアナ号及びプチャーチン関連の遺品（錨・食器・ディアナ号模型ほか）

ロシア及び旧ソビエト連邦からの寄贈品

井田松江古墳・井田丸塚古墳出土遺物

戸田周辺の漁撈民俗資料（コザラシ網・網針・釣針・蛸壺・櫓・錨ほか）

収蔵品（485点）のうちディアナ号模型、ヘダ号設計図、大工道具、ヘダ号模型の4点は、わが国近代造船の礎となった洋式船建造技術を伝えるものと認められ、平成19年11月に経済産業省から「近代化産業遺産」として認定された。

4. 博物館協議会

学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者等から選任された委員6人で構成されている。館の円滑な運営のため、展示・収集・普及活動などに助言や提言を行う。任期は2年。

5. 利用状況（令和5年度）

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	552 人	26 日	10	568 人	26 日
5	891	27	11	542	25
6	321	26	12	456	24
7	650	26	1	674	25
8	870	27	2	718	24
9	561	25	3	872	27

令和5年度 入館者数 7,675人 開館日数 308日 一日平均入館者数 24.9人

芹沢光治良記念館

1. 施設の概要

名 称	沼津市芹沢光治良記念館
所 在 地	沼津市我入道蔓陀ヶ原517-1
電話/FAX	932-0255
竣 工	昭和45年5月30日
総事業費	20,000千円
構 造	鉄筋コンクリート2階建
規 模	敷地面積 256㎡ 建築面積 146.8㎡ 延床面積 346.9㎡
開 館	平成21年10月1日
施設内容	1階 展示室（主に芹沢光治良関連の企画展示）事務室 2階 展示室（市民ギャラリーとして沼津の文化に関係した展示）収蔵庫
休 館 日	毎週月曜日・国民の祝日の翌日（土日は除く）・年末年始
開 館 時 間	午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
観 覧 料	大人100円 小人（小・中学生）50円 市内の小・中学生は無料 団体（20人以上）は2割引



2. 記念館設立の経緯と目的

昭和45年5月30日に芹沢光治良の心友、岡野喜一郎氏（当時のスルガ銀行会長）が財団を設立し、「芹沢文学館」として建設され、運営されてきたが、平成21年4月1日に旧財団法人芹沢・井上文学館から沼津市に寄贈され、同年10月1日に「沼津市芹沢光治良記念館」として開館した。

沼津市我入道で生まれ育った文人であり、沼津市名誉市民でもある芹沢光治良の業績と人物を周知することを目的としている。

また、2階展示室を市民公募によるギャラリーとして開放し、沼津市の文化に関する展示を行うことで、広い意味での文化を市民に提供することも目的としている。

3. 令和5年度事業実績

(1) 企画展

① 1階展示室

芹沢光治良に関する展示

ア 企画展 光治良の欧州体験 第2回（12月15日～5月31日）

イ 企画展 市制100周年記念 沼津ゆかりの文学者たち 第1回（6月15日～11月30日）

ウ 企画展 市制100周年記念 沼津ゆかりの文学者たち 第2回（12月15日～5月31日）

② 2階市民ギャラリー

ア 芹沢光治良を偲ぶ会（朗読・ピアノ演奏会）（5月4日）

イ 「気になるもの。」 菊地治彦写真展（10月7日～10月29日）

ウ 魏双斌×都築透 日中アーティスト交流展（11月4日～11月26日）

エ 芹沢光治良作品を聴く会（12月17日）

(2) 資料整理・保存

芹沢光治良関連資料のデータベース化と適正保存を進めるために、財団より寄贈された資料目録の点検、補填、資料等の整理及び保存のための準備を行った。（資料総数 3,607点）

(3) 各種広報活動

当館周知のためのポスター及びチラシ等を作成し、市内小中学校等の教育機関、各自治会及び主要文化施設に配布した。また各イベント会場へ出向き、同様に配布した。

(4) 教育普及

通常事業に加え、市制100周年記念事業「沼津ゆかりの作家顕彰事業」において実施したものを含む。

事業名	期 日	内 容	場 所	備 考
出前講座	3月9日	(特別講座)「沼津ゆかりの文学者たち」(第2回)について	1階展示室	沼津芹沢光治良文学愛好会依頼 参加者計18人
文学散歩	5月20日	「沼津ゆかりの文学散歩」	沼津市内	2コースに分け実施 参加者計24人
	10月21日	「沼津ゆかりの文学バスツアー」	沼津市・長泉町 伊豆市	バスツアー 参加者計33人
展示説明会	5月4日	芹沢光治良生誕日記念 企画展「光治良の欧州体験」(第2回) 展示説明会	1階展示室	同日中に全2回実施 参加者計21人
	7月1日	市制施行記念 企画展「沼津ゆかりの文学者たち」(第1回) 展示説明会	1階展示室	同日中に全2回実施 参加者計3人
	8月20日	県民の日記念 企画展「沼津ゆかりの文学者たち」(第1回) 展示説明会	1階展示室	同日中に全3回実施 参加者計12人
	2月23日	富士山の日記念 企画展「沼津ゆかりの文学者たち」(第2回) 展示説明会	1階展示室	同日中に全3回実施 参加者計14人
出張展示	8月2日～ 8月30日	ミニ出張展示「沼津ゆかりの文学者たち」	市役所1階	館内企画展のダイジェスト展示
	9月5日～ 9月18日	ミニ出張展示「沼津ゆかりの文学者たち」	ららぽーと沼津	各文学者計15人をパネル 各1枚で紹介展示
	1月5日～ 1月21日	出張展示「沼津ゆかりの文学者たち」	図書館4階	館内第1回企画展の内容 を展示
	2月2日～ 2月18日	ミニ出張展示「沼津ゆかりの文学者たち」	戸田図書館2階	各文学者計15人をパネル 各1枚で紹介展示
講演会	7月22日	沼津ゆかりの文学講演会	市立図書館 視聴覚ホール	講師：鈴木英治氏・ 秋山香乃氏 参加者計85人
刊行物	3月31日	市制100周年記念誌 『読む×見る×わかる 沼津の文学』		市内中学校等へ無償配布、 館内で有償頒布 発行部数300部

4. 令和6年度事業計画

事業名	期 日	内 容	場 所	備 考
企画展示	6月15日～ 12月1日	企画展『『人間の運命』の舞台を旅する』(第1回)	1階展示室	展示説明会8月21日 定員30人
	12月21日～ 6月1日	企画展『『人間の運命』の舞台を旅する』(第2回)	1階展示室	展示説明会2月23日 定員30人
講演会	11月未定	第12回芹沢光治良文学講演会(仮称)	図書館4階 視聴覚室	定員180人
文学散歩	10月未定	「沼津ゆかりの文学散歩」(仮称)	沼津市内	定員10人程度
出張展示	時期未定	ミニ出張展示『『人間の運命』の舞台を旅する』(仮称)	場所未定	館内企画展のダイジェスト展示
刊 行 物	3月未定	企画展図録(製本版)(仮称)		

5. 芹沢光治良記念館懇話会

館の円滑な運営を図るため、委員5人による懇話会を2回開催し、運営方法及び事業計画などについて参考意見を聴取した。任期は2年となっている。

6. 利 用 状 況 (令和5年度)

月	入 館 者 数	開館日数	月	入 館 者 数	開館日数
4	250 人	26 日	10	818 人	26 日
5	439	26	11	311	25
6	120	14	12	167	12
7	405	26	1	180	24
8	435	27	2	399	25
9	310	26	3	435	26

令和5年度 入館者数 4,269人 開館日数 283日 一日平均入館者数 15.1人

若山牧水記念館

<http://web.thn.jp/bokusui/>

沼津市若山牧水記念館は、歌人若山牧水の顕彰と本市ゆかりの文学者及びその背景となる沼津の文学風土を広く紹介することによって、市民の文化活動を振興し、創造性を育む文化都市づくりを目指すために建設された。

この記念館は、建設費の約半分に、市民はじめ牧水の関係者、そして、全国の牧水ファンからの寄附金が充てられ、昭和62年11月1日に開館した。



1. 施設の概要

名 称	沼津市若山牧水記念館
所 在 地	沼津市千本郷林1907番地の11
電 話	962-0424
竣 工	昭和62年2月28日
総事業費	122,000千円
構 造	鉄筋コンクリート造・一部木造、平屋建
規 模	敷地面積 2,378.04㎡ 建設面積 470.86㎡ 延床面積 400.58㎡
開 館	昭和62年11月1日
施設内容	展 示 室 117㎡ ラウンジ 113㎡ 沼津の文学風土を紹介するとともに、ラウンジの一角には喫茶コーナーを設け、来館する人たちの休憩や団らんの場として提供している。
収 蔵 庫	23㎡ 展示品以外の牧水に関する様々な資料や牧水研究家にとって貴重な資料を所蔵保管する。
会 議 室	(貸室) 和室2室、20畳 牧水を中心とした研究会や小規模な集会などに使用できる。
開館時間	午前9時～午後4時30分
観 覧 料	大人 200円 小人(小・中学生) 100円 市内の小・中学生は無料 団体(20人以上)は2割引

2. 運 営

(1) 指定管理者の指定

平成18年4月1日から公益社団法人沼津牧水会を指定管理者に指定している。

(2) 令和5年度事業実績

事業名	期 日	内 容	備 考
講座・講演等	4月～2月	「初心者のための短歌講座」	参加者 延126人 講師 永久保英敏
	4月～2月	「牧水記念館短歌会」	参加者 延73人 講師 永久保英敏
	4月～3月	「書道講座」	参加者 延92人 講師 成田 真洞
	5月～7月	「中学生短歌コンクール」 応募短歌19校 1,438首 入選短歌50首	表彰式 10月15日 牧水祭・碑前祭にて
	9月27日	「牧水が詠んだ鳥について聞こう」	参加者 17人 講師 本多 功
	10月1日	「短歌大会」 応募短歌103首	参加者 63人 講師 奥田 亡羊
	11月18日	沼津市制100周年記念講演会「牧水 鳥の歌」	参加者 48人 講師 伊藤 一彦
	3月3日	「雛の歌会」 応募短歌85首	参加者 53人 講師 阿木津 英
企画展	9月～10月	「若山牧水 鳥の歌」	入場者 347人
	3月5日～ 3月24日	令和5年度「書道講座」受講者作品展示	入場者 189人
刊 行 物	年 間	「若山牧水記念館」館報の発行 第71号9月1日 第72号3月5日	
	7月1日	「牧水 鳥」	

(3) 令和6年度事業計画

事業名	期 日	内 容	備 考
講座・講演等	4月～2月	「初心者のための短歌講座」	講師 永久保英敏
	4月～2月	「牧水記念館短歌会」	講師 永久保英敏
	4月～3月	「書道講座」	講師 成田 真洞
	5月～7月	「中学生短歌コンクール」	表彰式 10月20日 牧水祭・碑前祭にて
	10月6日	「短歌大会」	講師 内藤 明
	3月2日	「雛の歌会」	講師 沖 ななも
企画展	3月4日～ 3月23日	令和6年度「書道講座」受講者作品展示	
刊 行 物		「若山牧水記念館」館報（年2回）	

(4) 令和5年度入館者数

総入館者数	有 料 者	無 料 者	開 館 日	一日平均入館者数
3,988人	1,766人	2,222人	309日	12.90人

庄 司 美 術 館 (モン ミュゼ沼津)

<https://monmusee.jp>

沼津市庄司美術館は、平成12年に元沼津市長・故庄司辰雄氏のご遺族から庄司氏が収集した美術品ともども市に寄贈されたものである。市では、庄司氏の遺志を元に、市民に多くの美術品を鑑賞する機会を持ってもらうため、平成12年11月3日、沼津市庄司美術館（愛称モン ミュゼ沼津）として開館した。



令和4年12月1日から特定非営利活動法人レザミ・デ・ザールを指定管理者として指定している。

1. 施 設 の 概 要

名 称	沼津市庄司美術館
愛 称	モン ミュゼ沼津
所 在 地	沼津市本字下一丁田900-1
電 話	952-8711
竣 工	平成3年2月12日
建 築 主	庄司辰雄（元沼津市長）
寄附採納日	平成12年6月27日
構 造	鉄筋コンクリート造 亜鉛葺 3階建 地下1階付
規 模	敷地面積 594.73㎡ 延床面積 546.30㎡
開 館 日	平成12年11月3日
施 設 内 容	1F 受付、展示室 2F 展示室、書架 3F 館長室、事務室、収蔵庫
収 蔵 作 品	建物とともに寄附された美術作品 300点余 沼津市が所蔵する美術作品 570点余
開 館 時 間	午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
観 覧 料	大人 200円 小人（小・中学生）100円 市内の小・中学生は無料 団体（20人以上）は2割引



2. 運 営

(1) 美術館運営委員会

美術館の適正な運営をするために、美術館運営委員会を設置している。

沼津市庄司美術館運営委員会

委員の数 10名以内

任期 2年

(2) 令和5年度企画展実績

期 日	1 階 展 示 室	2 階 展 示 室
3月4日(土)～ 4月9日(日)	坂部隆芳作品展	所蔵作品展（山口源・前田千寸）
4月15日(土)～ 5月20日(土)	十時孝好作品展	
6月10日(土)～ 7月9日(日)	田邊和正作品展	
7月15日(土)～ 8月27日(日)	あしざわまさひと作品展	
9月2日(土)～ 9月30日(土)	渡辺美津代作品展	
10月7日(土)～ 11月17日(金)	鈴木紀代子作品展	
11月25日(土)～ 12月23日(土)	本田照男作品展	
1月4日(木)～ 1月28日(日)	寄贈作品展	
2月3日(土)～ 2月12日(月・祝)	山口源新人賞受賞作品展（前期）	
2月16日(金)～ 2月25日(日)	山口源新人賞受賞作品展（中期）	
2月29日(木)～ 3月9日(土)	山口源新人賞受賞作品展（後期）	
3月16日(土)～ 4月20日(土)	結城泰介作品展	

(3) 令和6年度企画展計画

- 山口育三展（4月27日～5月26日）
- 遠藤和子展（6月22日～7月21日）
- 水越亘將展（7月27日～9月1日）
- 杉本亜希子展（9月7日～10月5日）
- 草井裕子・上田風子・上地市剛展（10月12日～12月21日）
- 秋ゆかり展（1月4日～2月15日）
- 山口源賞展（2月22日～3月16日）

(4) 令和5年度入館者数

総入館者数	有 料 者	無 料 者	開 館 日	一日平均入館者数
4,699人	1,745人	2,954人	252日	18.6人